

2. 宝塔（垂水市指定史跡）

中世の垂水では、肥後氏や石井氏、梶原氏、中俣氏などの国人が覇権を争っていましたが、天文13年（1544）、伊地知重武が垂水を平定しました。その際に月海寺を建立し、この塔を立てたと推定されています。

笠石の各面には、現世の富と寿命長遠を成就し得たことを表す梵字が刻まれていましたが、塔身は風化して文字等は消えています。

